

■ホリバタとは

青少年市民協働センター（中央公民館の1、2階）の通称。そこで取り組むのが「ホリバタ事業」です。

個人・団体・企業等と行政が協働して、ふるさと宇和島を未来につなげる、持続可能な地域社会の創り手を育成する、公民館の一事業です。
中学生～39歳の青少年（ホリバタ世代）を主な対象としています。

ホリバタは、ときに休憩場所や自習場所として、ときにイベントスペースとして、若者の活動拠点になることを目指し、令和2年度からスタートしました。

- ①若者や市民団体の「居場所づくり・活動拠点づくり」
 - ②様々なイベント企画による「きっかけづくり」
- を行っています。

■リーフレット02に寄せて

新型コロナウイルス感染拡大の影響で制約がある中でも、青少年や市民団体の皆さんに積極的に活用いただいた2年目でした。

R3年度利用者数 延べ 5,421人
(5,421人/235日 = 1日あたり 23人)
(R4年3月15日時点)

リピーターも多く、イベントでも毎回参加のホリバタファンの方もできてきました。感謝しています。（一方、幅広い周知・広報はまだまだ課題です。）

ひとことカードなどを通じて届く声にも応えようと、マイナーチェンジもしてきた2年目。3年目の飛躍に繋がりたいと思います。



■ Contact

宇和島市立中央公民館

〒798-0050

愛媛県宇和島市堀端町1-25

TEL 0895-49-7112

Mail u-chuo-ph@city.uwajima.lg.jp

休館日 月曜日・祝日

(月曜日が祝日の場合は火曜日も休館)



* 公民館屋上から仰ぐ天守



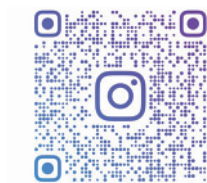


ひとりひとりの 使い方に 寄り添うホリバタ

おしゃべりも
勉強も
飲食も
休憩も
自由自在

ひとりでも、グループでも
気軽に、気の向くままに

登録団体なら
ホリバタの部屋利用も



HORIBATA_CHUOKOUMINKAN



LINE@540bfxrh

令和3（2021）年度 ホリバタの足あと

新型コロナウイルス感染拡大の影響で4・5月が閉館だったけど、やっぱりトライ&エラー！ あれもこれもチャレンジしてみた1年間の記録



うわしまのあいだい プロジェクト (10月～3月)



「地域」と「課題」について学んだ全7回のプロジェクト。愛媛大学生と宇和島市の中高生がチームを組んで、一緒にワークショップやフィールドワークを行いました。

ホリバタで専門家から話を聞くだけでなく、ホリバタを飛び出して、柑橘園地や真珠養殖の現場、大学の研究室、商店街、公共施設などを訪問。自分たちで地域課題について考察し、解決策をまとめる作業も実施。そして、何より、単に発表のための研究活動ではなく、地域に出て具体的な実践まで行いました。

学習経験の幅を広げ、地域への興味関心を深めながら

- ★自分の資質や能力を発揮する機会
- ★他校生と新たにつながる機会
- ★大学生との関わりの中で進路やキャリアを考える機会をつくることを目指しました。

年齢も学校も関係なく、課題に取り組み交流する、ホリバタならではの企画。中高生はもちろん、大学生にとってもお互いに刺激を受ける場となりました。



東京大学金曜特別講座 夏学期（6月～7月） 冬学期（9月～1月）



「知と出逢うきっかけや楽しさを、宇和島でも、もっと創りたい」と、東京大学と提携を結んで行っているこの講座。現在、ホリバタは学校以外の施設として全国で唯一の配信先です。

今期の内容も、歴史人類学、合成生物学、法律学、環境化学、数学、気候変動、社会調査、デジタルゲーム、宇宙、民主主義と多彩！

来期も継続予定！詳細はインスタやチラシにて。是非、来て下さい。

(受講生の声)

自らの関心から遠いものでも、グッと心奪われる講座もあります。これからも楽しみにしています。

さまざまなジャンルのお話を聞くことができ、視野が広がります。可能な限り受講したいと思っています。

とても貴重な学びの機会です。もっと宣伝して多くの方々に視聴してほしいです。

インフルエンサーアカデミー Instagram学科（10月） Instagram展（1月）

Instagramを活用した地域情報の編集発信スキルを身につけようという講座。1月には受講者からの投稿画像を展示した作品展も行いました。



新型コロナウイルス感染拡大の影響による延期を経て、10月に、オンラインでの開催となりました。宇和島のインフルエンサーをアドバイザーとしてお迎えし、Instagramの基本的な心構えから、投稿に興味を持ってもらうにはどうすればいいかまで学びました。

ライフキャリアデザイントーク 3（10月）、4 & 5（3月）

宇和島ゆかりのゲストから、チャレンジや生き方などを聴くトークセッション。「君の心に火を灯す！」がテーマです。

トーク3 ゲスト：林貴太郎氏（JICA海外協力隊員）

海外協力隊訓練生として、宇和島市で特別派遣前訓練をした林さん。チュニジア出発の5日前に、チャレンジ直前の思いを聴き、みんなでエールというてらっしゃいを伝えました。



林さんのいる大阪市とのオンラインセッションには、福島・長野・広島など、遠方からのご参加もありました。

トーク4 ゲスト：岩井俊治氏

(愛媛大学大学院農学研究科 生物環境学専攻 環境保全学コース 助教)

データ収集や解析によって真珠産業の現場を支える岩井さん。研究者として科学のエッセンスがちりばめられたトークを展開。



「世界を幅広く理解するために“スベシャリスト”を目指しましょう」がホリバタ世代へのメッセージです。

トーク5 ゲスト：山内拓人氏

(VFXスーパーバイザー/CGディレクター/デジタルアーティスト 株式会社KRADLEX代表取締役)

NHK大河ドラマ「青天を衝け」のVFXスーパーバイザーとして大きなチャレンジを終えたばかりの、宇和島市出身の山内さん。



ここでしか聴けない制作過程や撮影秘話が満載の「大河スペシャル」の回になりました。

ホリバタ活用術

ホリバタ世代の「使える」場所として
こんなふうにご利用されています

学校とコラボした企画を実践する場所として

ウォークラリーのチェックポイント！ (10月)

城南中1年生が市内を巡るウォークラリーを実施。そのチェックポイントの1つとしてホリバタを活用いただきました。ハロウィンの飾り付けをした館内でパンダ主任がお出迎えし、ホリバタの説明や記念撮影などを実施。学校行事と連携したホリバタの活用、「初めて来たけど楽しかったー」の声もたくさんいただきました。



これをきっかけに、後日、ホリバタに遊びに来てくれた子どももまた来てね！

学校以外の自主練場所として

吹奏楽の練習をしたい！ (12月)

12月の大会に向けて、部活動後の自主練場所を探していた仲良しグループが、活用。なんと、練習最終日には、そのお礼にと、スタッフへ演奏のプレゼントが！温かい粋なプレゼントに思わず、ホロリとしたスタッフでした。がんばったね！



Information

ラウンジの使用

ホリバタ1階のラウンジは、常時BGMが流れる、友だちとおしゃべりOKのにぎやかスペースです。卓球台やボードゲームを自由に使用し楽しむことができる、ホリバタ世代のための憩いの場です。友だちとワイワイ教え合いながら自習するもよし、卓球やボードゲームで盛り上がるもよし。気軽にヨリミチしてくださいね。※静かに集中したい場合は、2階の自習室がオススメです。



学生たちの「やってみたい！」を支援する場所として

アートで宇和島を盛り上げたい！ (8月～10月)

宇和島市出身の1人の京都芸大生が大学の仲間たちとともに立ち上げたプロジェクト(UWA UWA)。アートを介した「対話の場」を作り、他者の視点を知り、宇和島の魅力を再発見しようという試みです。

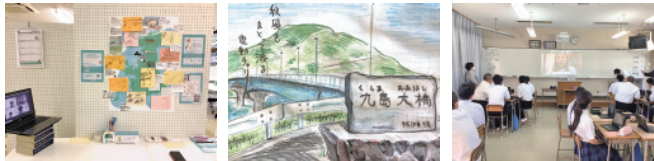
「よむまっぷツアー」は、参加者が思う、宇和島の好きな場所・モノを絵で表現し、俳句を添え、みんなでオリジナルの宇和島の地図を制作しようというもの。

ホリバタは、

- ★このユニークなまっぷを、市内の6高校に「ツアー」させること
- ★宇和島市(宇和島東高等学校津島分校や宇和島南中等教育学校生徒会)と京都市(UWAUWAメンバー)をオンラインで結び、直接対話の時間を設けること

をコーディネートしました。

県外の大学生が、宇和島のために自ら行動を起こしてくれたこの企画は、今後のホリバタの活動の可能性を大きく広げてくれるだけでなく、ひとりひとりの「特別な想い」に触れられる、スタッフにとっても楽しい企画になりました。



Report

寄せ書きと合格体験記

ホリバタでは、高校3年生に「寄せ書き」と「合格体験記」を、もし良かったら書いてほしいと、お願いしています。(ご協力、ありがとう！)

今の思いをホリバタに刻んでほしいから、また後輩の利用者へのアドバイスや、場合によっては相談に乗ってほしいから、始めました。先輩のメッセージや助言を知りたい人は、ホリバタまで！



学校の枠を超えた新たな交流の場所として

クリスマス装飾！ - 市内3中学校合同生徒会活動(城東・城南・城北中) (12月)

市内3中学校(城南・城東・城北)生徒会合同で、ホリバタをクリスマス色に飾ってもらいました。みんなで協力しながら、わいわい楽しく工夫をして装飾する様子が頼もしかったです。おかげで、ホリバタが一気に華やかになりました。ありがとう！



自主グループ活動、サークル活動の場所として

グループの活動拠点として、ミーティングや勉強会に活用したい！ (1月)

SDGsなどをテーマに取り組んでいる、高校生の自主グループ。ミーティングしたり、講師を呼んで話を聴いたり、グループの活動拠点としてホリバタを活用中。



ホリバタの運営や企画にも興味があり、今後、積極的に関わりたいとのこと。是非、皆さんの声を聴かせてください！ホリバタは皆さんの活動拠点。こんなサークル的な、自主グループでの活用も、大歓迎です。

スタッフ's Eyes

ホリバタの2年目を終えて

2年生の時にライフキャリアデザイントーク1(CG、VFXの山内さんがゲスト)に参加してくれた高校生が、3年生になって、CGの分野に進学が決まったと連絡をくれました！

「ホリバタのおかげで、自分の中の進路の選択肢が増えました」とのこと、とても嬉しかったです。トーク開催以外でも、希望に応じて山内さんとの面談の機会も設けました。いろんな相談にも乗りますので、是非ホリバタを活用してください。

